



中野 正剛議員

**Q** 今後、彦根市は認知症高齢者の減少にどう取り組むのか

**A** 他の関連分野にも参画をいただき検討を行う必要がある



その他の質問

- ・彦根市でも週休3日制の導入を
- ・地域コミュニティーのデジタル化を
- ・新生児マススクリーニング検査の周知を

**Q** 今年の秋には「認知症施策推進基本計画」が策定されるが、今後、彦根市はどのような取組をしていくのか。

**A** 今後、拡充していく必要がある内容として、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」を確認すると、移動のための交通手段の確保や地域における認知症の見守り体制の整備、社会参加の機会の確保、科学的知見に基づく認知症の普及啓発などを検討していく必要がある。

「認知症基本法」の目的は、「認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会の実現を推進すること」であることから、地域で暮らす上で不可欠な、産業、交通、教育、まちづくりなどの関連分野にも参画をいただき、検討を行う必要があると考えている。



▲認知症高齢者2012年調査と2022年調査との比較



八橋 龍二議員

**Q** 今年度ベルロードの歩道の修繕工事はされるか

**A** 特に損傷が著しい箇所について部分的に修繕される



その他の質問

- ・バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化に向けての現況と今後の予定は

**Q** 今年度ベルロードの歩道の修繕工事はされるか。

**A** ベルロードの道路管理者である滋賀県に確認したところ、今年度は、歩道の巻き込み部や店舗出入口などの特に損傷が著しい箇所について部分的に修繕されると聞き及んでいる。

**Q** 工事の日程は。

**A** 年内を目途に完了すると聞き及んでいる。

**Q** 工事の範囲は。

**A** 後三条西交差点から戸賀町西交差点の間、約1.4キロメートルである。

**Q** 点字ブロックの破損が確認された場合すぐに対応してもらえるか。

**A** 点字ブロックは、視覚障害者にとって必要不可欠な重要設備であると認識しており、破損を確認したらできる限り早急に対応するように努めている。



▲改修が行われる予定の歩道



小川 吉則議員

**Q** 市民への認知症に関する啓発は

**A** サポーター養成およびサポーターステップアップ講座を開催



その他の質問

- ・認知症家族介護者の支援について
- ・パートナーシップ宣誓制度について
- ・ファミリーシップ宣誓制度について

**Q** 市民への認知症に関する啓発はどうなっているか。

**A** 認知症サポーター養成講座および認知症サポーターステップアップ講座を開催している。

**Q** 認知症サポーターとはいったものか。

**A** 認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けをしてもらう人。

**Q** 認知症行方不明者に対する支援は。

**A** 彦根市メール配信システムを実施し、行方不明になるおそれのある人の事前登録者数は、令和6年5月末現在で276人である。見守り安心シールは、行方不明となるおそれのある高齢者の衣服や持ち物に貼って使用するシールで、登録者数は令和6年5月末時点で51人となっている。



▲認知症サポーター養成講座チラシ



中川 睦子議員

**Q** 金亀公園整備計画が高額になった理由は

**A** 連絡橋の地盤対策、駐車場拡張、管理事務所移転、道路改良など



その他の質問

- ・彦根城北側の環境整備を
- ・フリースクールの公的支援を
- ・多様化する学びの環境をどうすすめているか
- ・就学援助制度の利用拡充を

**Q** 金亀公園整備計画のそれぞれの経費と総額は。

**A** 連絡橋整備費約8億800万円、野球場解体と多目的グラウンド整備費約1億4,000万円、多目的技場の人工芝整備と夜間照明約2億300万円、休憩所等の施設改築費約6,900万円、電気設備と園路整備費約2億2,000万円、駐車場改修費約1億3,500万円、管理事務所移転費約1億1,500万円、道路改良費6,400万円、総額17億5,400万円。

**Q** もともと9億3,000万円。高額になった理由は。

**A** 連絡橋の地盤対策、駐車場の拡張、管理事務所の移築、安全のための道路改良、人件費と資材高騰が考えられる。

**Q** 予算計上されている管理事務所等の2億円余りについて圧縮できないのか。

**A** 工事発注の中で入札により圧縮できることもある。



▲2017年の金亀公園整備計画



森田 充議員

**Q** 開庁時間短縮の目的は

**A** 短縮で確保した時間により今後の市民サービス向上に向けた取組を進めるため



その他の質問

- ・ひこね市文化プラザ、みずほ文化センターの使用料値上げに至った経緯は
- ・彦根市が現在、保有している公共施設は

**Q** 開庁時間短縮の変更内容は。

**A** 市役所本庁舎や福祉センター、支所・出張所など10施設の開庁時間と直通の電話受付時間が、現行は平日8時30分から17時15分までであるが、令和6年10月1日からは、平日9時から16時45分までに変更となる。

なお、職員の勤務時間および執務時間はこれまでどおりであり、市立病院や消防、清掃センター、図書館、幼稚園、保育園、子ども園などの時間もこれまでと変わりはない。

**Q** 実施に向けての周知方法は。

**A** 本市のHPに掲載するほか、広報ひこねで8月号から3か月連続で掲載する予定。

またSNS等の各種媒体やひこねしちよーCHを通じて随時周知していくほか、庁内にポスターを掲示し、市民をはじめ、事業者や関係団体の皆様へ、窓口を短縮する10月までに丁寧に幅広く案内していく予定。



▲新たな働き方が始まる市役所



安澤 勝議員

**Q** もう少し深く埋めるとか目に見えないようにできないか

**A** 土砂などを用いて覆土を行い適切に管理するよう努める



その他の質問

- ・猟友会ハンターに対する報酬は
- ・ニホンザル対策の強化を
- ・山を荒らすオフロードバイク排除を

**Q** 駆除したシカやイノシシの処分方法として彦根市鳥居本町外13ヶ町財産区の山に埋葬しておられるが、この場所は鳥居本中学校の森林学習をしているごく近いところにあり生徒の目にも触れる可能性がある。もう少し深く埋めるとか目に見えないように対策できないか。

**A** 彦根市鳥居本町外13ヶ町財産区での埋設処理については、職員がスコップを用いて作業を行っているが、山林での埋設は地盤や土中の根や石の影響を受け十分な深さが掘れてないこともある。今後においては財産区と埋設場所の調整などを行い、掘り返しが起こりにくい深さに埋設するとともに、定期的にパトロールを実施し、状況によっては土砂などを用いて覆土を行い、適切に管理するよう努める。



▲動物の骨が散乱